

★ **Rotary**
THE ROTARY CLUB OF KOBE TARUMI



**CREATE
LASTING
IMPACT**

持続可能なインパクトを生み出そう 2026-2027

2026年 7月16日(木) 第2回 (通算2357号)

… 例会プログラム …

本年度 第2回 【7月16日(木)】

宇宙の話
土田 哲(あきら) 氏



シンギング
夏の思い出

… 次回例会 プログラム …

本年度 第3回 【8月6日(木)】

未 定

決算・予算 総会

シンギング

国歌 君が代 奉仕の理想

2026-2027年度上半期会費納入のお願い

幹事 鷺 尾 太 一

金 額	上期会費	150,000円
	周年記念事業特別基金	10,000円
	計	160,000円

振込先 三井住友銀行 垂水支店 普通預金 No. 5844554

口座名 神戸垂水ロータリークラブ 本会計 会 計 中村天彦

※銀行振込にてお願いします。振り込み控えを領収書に代えさせていただきます。

【幹事報告】

「第91回 ローターいほろにが会」追加募集の ご案内
日 時:7月無25日(土) 18時～ 会 場:ポートピアホテル「偕楽」
会 費:13,000円

事務局移転の お知らせ 2026年6月末日をもって 下記へ移転しました。

住所:神戸市須磨区白川台6丁目23-1 ルナステーション802 〒654-0103

【回 覧 物】

【第91回ロータリーいほろにが会】[追加募集]の ご案内。

「ビッグロブ」が、サイバー攻撃を受けたため
メールの送受信が出来なくなり、昨日(7月15日)に復旧しました。

出欠 メークアップ ニコニコ その他は、後日 広報(発表)いたします。

会長卓話 第1例会 2026年7月2日(木)

「懸命な奉仕」「良き心」



今年度もロータリー活動がはじまりました！引き続き、奉仕活動に親睦活動に、皆様に楽しく力をあわせて取り込んで参りたくをお願いします。

実は今回の会長職は、2.5度目の会長となります。

ちょうど9年半前、濱崎会長が新年例会のその日の夜にお亡くなりになり、前年会長の鵜田が下期は会長をさせていただきました。

1度目の会長は、その前年度の、ちょうど今から10年前のこととなります。

1度目の会長時の会長卓話は、例会ごとに、時々俳句の季語のお話、全国各地の風物詩のお話をさせていただきました。

当時は、大勢の大先輩を前に、未熟者の私が、ロータリーの話をする事自体が恥ずかしく感じたからです。

それから10年たってみて、多くの先輩方がお亡くなりになり、また、新しい会員の皆様も増えました。

この間、コロナ禍があり、リモートワークの推進に代表されるように、IT化、AIの出現・発展等、世の中も大きく変わりました。

そんな中で、私もロータリー活動を通じて、少しは勉強させていただけたかなと思っています。つたない勉強の成果を発表する場として、今回の会長卓話は、少しはロータリーにちなんだお話をしたいと考えています。

ただ、ロータリーお話は、抽象的で難しいことが多いです。

そこで、先輩ロータリアンでもある松下幸之助さんの著作やお言葉を少しでもご紹介させていただこうかなと考えました。

松下さんは、ご存じの通り日本を代表するの名経営者であり、かつ、PHP活動を通じて、社会全体への貢献を实践され、事業経営にとどまらず示唆に富むたくさんの著作を残されています。

ご承知のとおり大阪ロータリークラブの会員であり、著作にもロータリーで学んだことを反映しているなど感じられるものも多くあります。

松下さんの著作は、非常に具体的で示唆に富むものも多く、みなさんの日々の事業所での訓話などにお役に立ててもらえばと考えました。

7月2日のお言葉

商売というものはたんなる売り買いではなく懸命な奉仕であり、そこに良き心が通い合わなければならない(商売とは)。



ロータリーでは、自己の職業を「天職」と捉え、自らの職業を通じて社会に奉仕するという気持ちで、日々の事業に取り組むべきことを説いています。

松下さんも、「商売」も社会に対する「懸命な奉仕」である説かれています。単なる売り買いの金儲けが「商売」ではないと。

そして社会に対する「懸命な奉仕」である以上、「良き心」が通い合わなければならない、つまり、商売も「良き心」をもって取り組む「奉仕活動」である、というのです。

私たちは、日々、自分の仕事に取り組んでいます、**「懸命な奉仕」**になっていますでしょうか？

日々の仕事に**「良き心」**をもって取り組んでいるのでしょうか？

今一度、日々の仕事への向き合い方を考えてみたいものです。



夏の思い出

作詞 江間 草子
作曲 中田 喜直

♩=66

F C7 F Bⁿ F C7 F

なつがく れば おもいたす はるかなおぜー とお いそら

F C7 F D7 Daug Gm7 C7 F

きりのな かに うかびくる やさしいかげー ののこみち



会長卓話 第1例会 2026年7月16日(木)

みなさん、こんばんわ。今日はゲストスピーカーの土田哲さんの宇宙のお話です。土田さん、ようこそ。お話を楽しみにしております。

本日は、最後までごゆっくりお過ごしください。

さて、今週も引き続き先輩ロータリアンである松下幸之助さんの言葉の紹介をさせていただきます。

7月16日のお言葉

いかなる困難であっても、それに対して進む道というものは必ずある。このことを素直に認識したい。(困難)

松下さんのベストセラー「道をひらく」の冒頭に「道」という題のエッセイがあります。自分の「道」は「天から与えられたもの」。ひたすらに、素直に、与えられた「道」を歩むべし。ロータリーの説く「天職」を、そのまま、おしゃっているように感じました。

たしかに、日々、様々な困難に直面することもあります。必ず進むべき「道」はある、天から与えられた「道」だからこそ、素直に進むべき道があると認識しなさい。お言葉からは、勇気をもらえる気がします。

亀の歩みでも、道を進め。

